

1 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

あやかさんは、学校の図書室で本をよむのが好きでした。とくに、どうぶつが出てくるお話が大好きです。

ある日、あやかさんは、新しいどうぶつのお話を見つけました。

「あ、これおもしろそう!」

と、さっそくかりて家に持って帰りました。でも、その本は、いつもよんでいる本よりも字が小さく、ページも多かったので、さいしょのほうでつかれてしまいました。

「ちょっとむずかしいかも...」

あやかさんは、本をとじて、つくえの上においてしまいました。

つぎの日、おかあさんが言いました。

「あやか、それ新しくかりた本? あやかが好きそうな絵だね。」

「うん...。でも、むずかしくて、あんまり読んでない。」

とあやかさん。

するとおかあさんはやさしく言いました。

「すこしずつ読めばいいんじゃない? 1日に1ページだけでも。」

その夜、あやかさんは、おかあさんの言葉思い出して、もう一度本をひらきました。1ページだけよもう、と思っていたのに、つぎのページが気になって、けっきょく何ページも読みました。

「やっぱり、よんでよかった!」

と、あやかさんはにっこり笑いました。



(1) あやかさんが、はじめて本を読んだとき思ったこととして、あてはまるものに○をつけましょう。(2つ)

- () 字が小さくて、むずかしい
- () お話がつまらなそう
- () すぐにさいごまで読めそう
- () どうぶつが出てくるから楽しみ

(2) あやかさんの気もちのうつりかわりを、正しいじゅんばんに並べましょう。

- ① むずかしそうだと思って、本をとじた。
- ② さいしょに、「おもしろそう」と思っけりた。
- ③ すこしずつ読んでみたら、たのしくなってきた。
- ④ おかあさんに「すこしずつ読んでみたら?」と言われた。



(3) このお話を書いた人(作者)は、読んでくれる人に

- () 「むずかしいと感じたことも、
- () と、たのしくなることがあるよ」という気もちをつたえたかったのだと思います。
- () 次の中から、あてはまることばをひとつえらんで、かっこの中に書きましよう。

すててしまう・すこしずつやってみる・だれかに読んでもらう

1 つぎの おはなしを よんで もんだいに ーたえましよう。

あやかさんは、学校の図書室で本をよむのが好きでした。とくに、どうぶつが出てくるお話が大好きです。

ある日、あやかさんは、新しいどうぶつのお話を見つけました。

「あ、これおもしろそう!」

と、さっそくかりて家に持って帰りました。でも、その本は、いつもよんでいる本よりも字が小さく、ページも多かったので、さいしょのほうでつかれてしまいました。

「ちょっとむずかしいかも…。」

あやかさんは、本をとじて、つくえの上においてしまいました。

つぎの日、おかあさんが言いました。

「あやか、それ新しくかりた本? あやかが好きそうな絵だね。」

「うん…。でも、むずかしくて、あんまり読んでない。」

とあやかさん。

するとおかあさんはやさしく言いました。

「すこしずつ読めばいいんじゃない? 1日に1ページだけでも。」

その夜、あやかさんは、おかあさんの言葉を思い出して、もう一度本をひらきました。1ページだけよもう、と思っていたのに、つぎのページが気になって、けっきょく何ページも読みました。

「やっぱり、よんでよかった!」

と、あやかさんはにっこり笑いました。

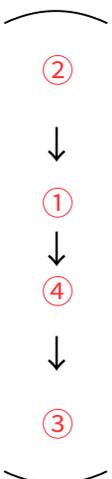


(1) あやかさんが、はじめて本を読んだとき思ったこととして、あてはまるものに○をつけましょう。(2つ)

- (○) 字が小さくて、むずかしい
- () お話がつまらなそう
- () すぐにさいごまで読めそう
- (○) どうぶつが出てくるから楽しみ

(2) あやかさんの気もちのうつりかわりを、正しいじゅんばんに並べましょう。

- ① むずかしそうだと思って、本をとじた。
- ② さいしょに、「おもしろそう」と思っけりた。
- ③ すこしずつ読んでみたら、たのしくなってきた。
- ④ おかあさんに「すこしずつ読んでみたら?」と言われた。



(3) このお話を書いた人(作者)は、読んでくれる人に

- () 「むずかしいと感じたことも、と、たのしくなることがあるよ」という気もちをつたえたかったのだと思います。
- () 次の中から、あてはまることばをひとつえらんで、かっこの中に書きましよう。

すててしまう・すこしずつやってみる・だれかに読んでもらう